

2012年「オーディオ・ホームシアター展(音展)」イベント

「音のサロン」報告

一般社団法人日本オーディオ協会
渡邊 哲純

皆様ご存知のように、2012年のオーディオ&ホームシアター展が昨年10月19日から21日まで秋葉原において開催されました。

今回の音展は昨年以上の来場者で賑わいましたが、特に富士ソフトアキバプラザの7階で開催された「音のサロン」には、3日間で1000名を超えるお客様が来場され大好評でした。

日本オーディオ協会では会員会社11社により構成される「音のサロン委員会」が「良質の再生音楽を良質の再生環境で楽しんでいただくライフスタイルの普及」を目指、種々の活動を推進していますが、これらの活動を総称して「音のサロン」と呼んでいます。

音のサロン委員会の具体的な活動としては

1. 音展における協会主催「音のサロン」の企画運営(年一回開催)
2. 千代田区と一般社団法人日本レコード協会との共催の千代田区民講座「音のサロン」の企画運営(年4回開催)
3. PCオーディオの健全な発展のための協会主催「PCオーディオ講座」の企画運(年4回開催)などを推進しており、本年はさらにこれらの活動を充実させるべく検討を進めていますが、ここでは、年が変わってしまいましたが1.の音展の中で主催者イベントとして企画された「音のサロン」について報告させていただきます。

本年度開催された音展「音のサロン」では、ご来場のお客様に喜んでいただけるよう委員会で検討を重ねた、10のプログラムを用意しました。

また会場の再生環境を整えるため、ヤマハさんの協力をいただき、壁面に調音ボードを設置し音質の改善にも配慮しました。



各プログラムは、それぞれ試聴機器の組み合わせを変えて、色々なメーカーの組み合わせで音楽を楽しんでいただけるようにしました。

以下にそれぞれのプログラムの概要を紹介致します。

10月19日(金)

最新最高音質の配信音楽を聴く(パート1)

講師 オンキヨーエンターテインメントテクノロジー(株)黒澤 拓氏
(有)エフ 藤田厚生氏

平日の午前のプログラムにもかかわらず開場前から行列が出来き、開演の11時には満席の状況で講演が始まりました。黒澤氏の挨拶について藤田氏が高音質配信の現状や楽しみ方の解説と、最新のメジャーレーベルの配信ソフトの試聴がすすみ、お客様は音質配信音楽の良さを堪能されていました。



真空管アンプでアナログレコードの名演を聴く

講師 音楽プロデューサー 伊藤 八十八氏

伊藤氏が御自分で制作に携わったジャズの名盤のアメリカでの収録の裏話などを交えた解説は、普段の試聴会では聞くことの出来ない貴重な話で、立ち見のお客様が大勢おられました。途中で退席する方もなく、皆さん最後まで楽しんでおられました。

来場者からは「ジャズはアナログが最高」との声も聞かれ、来年の開催を楽しみにしているとのメッセージもいただきました。



Female Vocal(高橋真梨子・岩崎宏美)を聴く

講師 テイチクエンタテインメント プロデューサー 湯田 淳一氏
ビクターエンタテインメント 販売促進グループ 前田 格氏

オーディオの試聴会では使われることの少ない日本のポピュラー音楽歌手のソフトを、オー

ディオマニアだけでなくより広くの方に楽しんでいただくために企画したプログラムでしたが、最新のアルバムを中心にソフト会社の講師の解説付きで聴いていただき、きちんとした再生機器とスピーカーで聴くすばらしさを再認識していただくことができたプログラムでした。



シャンソンとフランス文化の楽しみ

講師 元 FM fan 編集長 小林 俊彦氏

昨今は耳にすることが少なくなったシャンソンをあえてとりあげましたが、シャンソンに造詣の深い講師のお話と、私蔵の貴重なソフトを使っての視聴は、来場者からは「久しぶりにシャンソンを聴き自宅に戻ったら自分のソフトをもう一度聴いてみたくなった」などの声が寄せられていました。



10月20日(土)

最新高音質配信音楽を聴く(パート2)

講師 (株)クリプトン オーディオ事業部長 渡邊 勝氏

(株)カメラータ・トウキョウ 中野 浩明氏

前日のパート1に変わって、クリプトン HQMstore の配信音源と CD との比較試聴を交えたプログラムで、最新の高音質配信のソフトの音質のすばらしさを認識させるには最適なプログラムでした。

昨日のパート1と本日のパート2共に朝1番のプログラムにもかかわらず満席で、昨今のハイレゾ配信音楽への関心の高さを実感させるものでした。

そうした中で来場者からは PC オーディオの使いこなしの難しさが指摘されており、音のサロン委員会としては、去年の PC オーディオ入門講座に引き続き今年も PC オーディオ講座を4回開

催の予定で、現在内容の検討を進めています。



高音質 CD から HD-sound までの音質の進化

講師 一般社団法人日本レコード協会 ビクターエンタテインメント 鈴木 順三氏

パッケージソフトの市場拡大に注力している日本レコード協会としての「音のサロン」での講演は初めてでしたが、ソフト各社が CD を中心としたソフトの高音質化へ向けて種々の取り組みをしており、それらと比較できたこの講座は大変意義のあるもので、今後もレコード協会とオーディオ協会が協力しての活動の重要性を認識させるものでした。



1920 年代に生まれた名出力管 250 プッシュプル・アンプで聴く WE594

講師 真空管オーディオ協議会 評論家 新 忠篤氏

真空管オーディオ協議会と JAS では一昨年の秋から、オーディオ業界の活性化を目指し協力して活動することに合意し、手始めにそれぞれの主催展示会において、相互に来場者に向けた講演会を行うことにしました。その一環として今回は上記講演が計画されましたが、リハーサルで WE594 が動作せず、急遽スピーカーの入れ替えをするなど不測の自体も起こりましたが、新氏のお人柄のにじみ出たお話に、日頃真空管の音を聴く機会の少なくなった参加者からは、この企画を喜ぶ声が多く寄せられていました。



学生による楽しいクラシック・ディスクコンサート

講師 東京大学・早稲田大学古典音楽愛好会 新津 健一郎氏他2名

恒例になったこのプログラムは、学生諸君が自ら講師となり事前に試聴するソフトに関する勉強をいただきこの場で発表するものですが、年々来場者も増え、通常の試聴会では聞くことのできないフレッシュな話と試聴を楽しんでおられました。

また終了後も講師に今回使用したソフトに関する質問をされる熱心なお客様などがおられ大好評でした。



10月21日(日)

最新 PC オーディオ試聴会

講師 JAS 音のサロン委員会委員

前述のようにオーディオ協会では昨年「PC オーディオ入門講座」を開催してまいりましたが、これに参加された皆さんから各社 DAC などの聴き比べの場を作ってほしいとの声が多く寄せられました。そこで今回初めてこのプログラムを用意し、メンバー会社7社の DAC やネットワークプレーヤーを切り替えての試聴を行いました。

2時間の長時間プログラムでしたが、あふれんばかりのお客様からは、めったにない企画で大変参考になったと大好評で、今後の PC オーディオの市場の伸びを予見させる熱のこもったプログラムでした。



価格帯別コンポの魅力を探る

講師 オーディオ・ビジュアル評論家 麻倉 怜士氏

3日間の音展「音のサロン」最後のプログラムです。

前は90分のプログラムで行いましたが大好評でしたので、今回は2時間に時間を延ばし、30万円から200万円までの価格帯を5グループに分けたハード機器の組み合わせで、課題曲3曲(各組み合わせ共通)と自由曲数曲をお聴きいただきました。

麻倉氏は開催前日の18日夕刻に2時間以上かけて持参された大量のソフトを機器の全組み合わせ別に実際にかけて確認し本番に備えられ、参加者に記入いただいたアンケートでも、「このイベントはすごい、大変参考になった、選曲が良い、来年も是非お願いする」などの自由記述でのご意見が多数寄せられていました。



こうして3日間の「音のサロン」は講師の方は勿論ですが、音のサロン委員会メンバー11社の委員の方の絶大なるご協力により、大好評の内に終わることが出来ました。

冒頭でも書きましたように、音のサロン委員会の活動は「良質の再生音楽を良質の再生環境で楽しんでいただくライフスタイルの普及」を目指した活動です。

昨今音楽を楽しむことがいつでも、何処でも出来るようになったことは喜ばしいことですが、ご家庭ではせっかくのすばらしい音楽ですから、スピーカーから発される音楽の感動を、コーン紙から送られる空気振動を肌で感じながら楽しんでいただきたいと思います。

音楽は耳だけで聴くものではないのです。

是非、体全体でその感動に触れていただきたいと思います。

本年も委員会ではこうした「音のサロン」活動を、各社協力して益々充実させて参りますので、JASジャーナルをお読みの皆様のご支援を心より願うものです。

最後になりましたが、委員の皆様は自社の本業の傍ら、忙しい中手弁当でこの委員会活動に参加しご協力をいただいております、この誌面を借りて心より御礼申し上げます。